

社会的共通資本の TICAD 発信の意義

The Significance of Dissemination of social common capital in TICADVIII

○森瀧 亮介*

○Ryosuke Moritaki

1. はじめに

- ・コロナ禍でアフリカでは WFP 推計 2 億 6,500 万人経済的弱者小農が食糧危機;何故?
→先進国は小農収益向上のためコーヒー等換金作物支援⇒食糧用農地使用
- ・ジンバブエは第一次土地改革 (FTLR) で農業情勢一変。穀物自給率 2017 年 47%。
- ・国民の大半小農は家計が貧困。主食購入の経済支出相対的增加に伴う家計収支悪化とコロナ禍ロックダウンによる食糧安保危機 (2020 年 7 月, 年率物価上昇 840%)。
- ・新自由主義グローバリズム対処としての社会的共通資本が脚光。
- ・発表者は社会的共通資本: 農地, 水, 灌漑施設などを守る JICA 専門家活動に従事。

目的: コロナ禍の下, 食糧危機に陥らず農村社会継承の無償灌漑地区を TICADVIII 発信。

2. 社会的共通資本 TICADVIII 発信意義: コロナ禍で明確化した課題 (目指すべき姿)

(1) 社会的共通資本: 定義: 宇澤弘文「一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々が, ゆたかな経済生活を営み, すぐれた文化を展開し, 人間的に魅力ある社会を持続的, 安定的に維持することを可能にするような自然環境と社会的装置」,

- ・社会的共通資本継承のポイント: 職業的専門家集団の運営管理 (マネージメント)
- ・社会的共通資本の分類とアフリカの課題

分類	コロナに伴い浮かび上がった課題
自然資本	森林破壊、資源乱開発他。新自由主義農業は循環型ではない
社会的インフラストラクチャー	インフラ整備遅延: ジンバブエは天水農業 8 割、ロックダウンによる食糧危機、従来開発支援思想の再考
制度資本	国家体制脆弱; 制度実行予算欠如、小農の尊厳: 水利組合自主的運営管理能力脆弱化

(2) 新自由主義グローバリズム課題: 民間主体と農家主体の市場志向型農業の違い

1) **民間主体 = 新自由主義農業**; バナナ生産優先で農地・水等バナナ生産に係る「資源, 生産要素」を企業側決定。小農に契約交渉能力なく家庭用食糧安全保障未確保、耕作放棄地発生等**企業の自由が最大限保障 (小農自主性剥奪)**

・バナナ生産収益でしか農家所得が得られない**民間企業下請け状態**

- ・全農地面積 220ha、バナナ栽培 60ha: 大量灌漑用水消



*元 JICA 専門家 (ジンバブエ), Former JICA Expert, キーワード: 農村計画, 農村振興

費によりメイズ、小麦その他農産物 20ha (2014 年 12 月), 約 6 割耕作放棄。自家用メイズさえ自給出来ない⇒2019 年サイクロン災害で WFP 支援。

2) 農家主体：SHEP (農家自ら創意・工夫)

3. TICAD 発信：新自由主義グローバル農業対応社会的共通資本 (ジンバブエ事例)

- (1) 社会的共通資本の国民全体認識共有活動：世銀調査と Workshop (WS) ; FTLR で一変した農業の現状を国民全体で課題共有し、各立場で農業再建意識醸成
- (2) 社会的共通資本の国民全体認識共有活動：世銀調査と Workshop (WS) ; FTLR で一変した農業の現状を国民全体で課題共有し、各立場で農業再建意識醸成

国民全体 WS (2013. 1~2013. 3) FTLR 後の農業再建意識醸成	国家灌漑政策 WS、 (2013. 9~2014. 2)	農家 WS (2014. 3 ~2014. 10) 協力準備調査前農家意識醸成
大臣、次官、各局長、農業関係団体、農家代表、水機構、電力機構、各ドナーと発表者	灌漑局長、農業省副局長、職員と発表者	灌漑局、農業普及局、機械化局、農業市場機構、水機構、農家 (水利組合)、地方組織

(3) 社会的共通資本継承・発展の具体的地区事例

シヨナ民族 (Shona People) 伝統の共同体精神のもと農業関係者全体参画と役割分担。農地や水、灌漑施設を自主的に運営管理し農家の尊厳を保ち、農村社会という社会的共通資本を共有財産として捉え、継承・発展。

4. まとめ：(わが国の役割)

- ・わが国は新自由主義グローバル農業でコーヒー等多くの換金作物恩恵享受→小農レベルの課題：①食糧安全保障危機、②新自由主義農業の課題→コミュニティ継承と尊厳尊重：自主的運営管理
- ・新自由主義グローバリズム対処手法：社会的共通資本を発信し、推計 2 億 6,500 万人 (日本人口の 2 倍) の経済的弱者小農へ SDGs に即した農業農村社会を提示

- ・具体的事例ニャコンバ TICADVIII (2022) 発信・提示、家族農業・SHEP 代表モデル

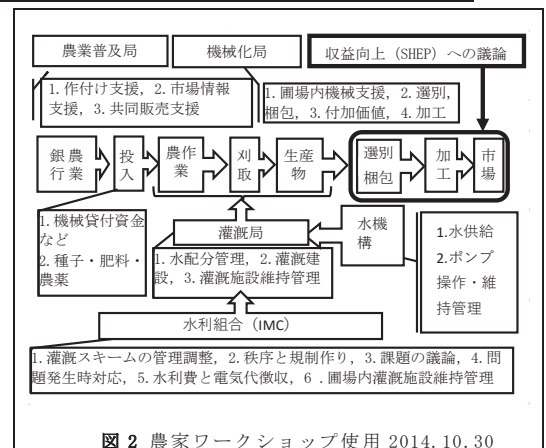


図 2 農家ワークショップ使用 2014. 10. 30

参考文献

- ・宇澤弘文 (1994)：社会的共通資本ーコモンズと都市ー，“宇澤弘文・茂木愛一郎 編”，東京大学出版会，43-44.
- ・宇澤弘文 (2012) (参照 2020. 5. 4)：提言，農業協同新聞，
- ・宇澤弘文 (2013)：経済学は人々を幸福にできるか，東洋経済新報社，
- ・AFPBBNews (2020) (accessed 2021. 1. 30)：ジンバブエのインフレ率、840%近くに 政府は危機を否定，(online), <https://www.afpbb.com/articles/-/3299409>
- ・森瀧亮介 (2021)：社会的共通資本の重要性とグローバルフードバリューチェーン，農業農村工学会誌 89(4)，17-20